



日本 ORC 協会 計測事務局
平成 19 年 2 月 20 日

2007 年度 ORC クラブならびに IMS 証書 変更注意点

Adjustable Forestay

2006 年度まで

Spreader が後ろに Bend させて、さらに Tension の調整可能な Forestay を装備する艇の場合、2006 年 Rule においては Back Stay Control をロックしなければならない。

2007 年の変更

Adjustable Head stay (Code3)として認めることになりました。

Sail Default Minimum Size

JIB

2007 年度より Jib については Default サイズを 90% J までに引き下げることになりました。

多くのヨットは 110% 以下の Jib を使用していないと考えられますが、適用が考えられる場合には、変更申請すれば有利なレーティングが得られる可能性があります。

Spin (Symmetric, Asymmetric Spin)

2007 年の変更で、Default Size より小さな Spinnaker については実測面積が Default の 50% から 98% の範囲については、実際の計測値と Default の 平均を採用、50%以下の Spinnaker については Default の 75%とするよう VPP が変わりました。この変更は実測値の入力が有る場合のみ適用されます。Default より小さなセールを使用している各艇におかれましては、有利なレーティングが計算される可能性があります、セールメジャーもしくは日本 ORC 協会に問い合わせください。セールの計測値がわかっている場合には試算の請求も受け付けます。

Sail Inventory

2007VPP より使用する全てのセール計測値をデータとして入力することにより、Jib、対称 Spin、非対称 Spin のそれぞれの最大面積を VPP が算出し、最大面積のセール計測値を用いてレーティングの計算を行うこととなります。

現行 Rule では Sail Area の計算について、複数枚ある Sail について各項目の最大値(最大値が別の Sail から得られる場合がある)を採用している。その各項目の最大値から VPP 計算される Sail の面積は 実際の最大面積を持つ Sail 1 枚より当然大きくなるわけで、それぞれの最大値が 1 枚のセールのものであれば、不利にならないが、複数枚にわたるならば、仮想的に大きなセール面積を算

出するため、レーティング上、不利となります。

2006 年の計測値のまま更新の希望が出た場合、昨年同様、使用セールの各計測値の Max.値で計算されます(セールに関して DAT ファイルは修正不要)。

Jib Roach Measurement

2007IMS ルールより 110%以上の Jib があっても 110%以下の Jib には Roach が認められるようになりました。2007 年からは、2006 年までの JR 値ではなく、Girth 計測(JGT, JGU, JGM, JGL)を行います。計測は、110%以下の Jib に対してのみです。(Rule: 812.1)

注)更新については IMSRule 813 で記述。

Head Board

2007 ルールより Jib のヘッドボード(JH)が使用可能となりました。ただし、100mm 以下もしくは JL の 1%以下の制限がある。もし、それを超えた場合、超過長さの 5 倍の値が JL に加算されます。(Rule: 812.4 削除 813.3)。

以上